



祝祭日には



を掲げましょう

いまこそ集落創生

第25回 檜台地区



【上段（左から）】檜台地区公園保全会の皆さん。
地区住民総出で、公園の維持管理や植樹した桜
の保全を行っている／平成30年に桜を植樹し
た際は地区の子どもたちも協力した

【下段】昨年7月21日に松ノ木集落で初めて実
施した清掃ボランティア。お盆でふるさとに戻
る多くの帰省客を綺麗になった地区で迎えた

町中心部から南へ3・5km、明安地域のおよそ真ん中に位置する檜台地区。檜台集落と松ノ木集落から成り、二集落の間には明安小学校が所在します。登下校時などに響く子どもたちの声が、約180名（およそ50世帯）が暮らす地区に活気をもたらしています。

近年顕著なのが、檜台地区公園保全会の活動です。平成30年に設立されたこの保全会は、地区公園の整備を通して緑化活動の大切さを伝え、住民の親睦を図ることを目的としています。設立した平成30年には、県みどり推進機構の助成を受けて、子どもたちが公園内に5本のしだれ桜を植樹したほか、昨年はブランコなどの遊具周辺に芝生を張りました。須藤登区長は「多くの住民が集う場所になるとよい。また、保存会の活動をきっかけに互いに協力する体制をつくり、地区を盛り上げていきたい」と話します。一方、松ノ木集落では、平成26年に老朽化した公民館を建て替え。これは松ノ木在住の高橋清大工が施工しました。また昨年には、帰省シーズン前の清掃ボランティアが初めて行われました。約30名が水路の泥上げや花壇の除草などを実施。帰省客だけでなく住民にとっても、地区が綺麗になって気持ちが良いと、来年以降も活動を継続していく予定です。

少しずつ新たな動きが始まる檜台地区。「これからを担う若者が、歴史と繋がりを大切にして豊かな檜台を次世代に残してもらいたい」と須藤区長は思いを語ります。まず目標としているひとつの光景があるそう。「公園に桜が咲く風景を、未来の子どもたちに見てもらいたい」。その願いを込め、笑みを浮かべていました。

編集 幸記

▼さあ4月、待ちに待った春！
：とはいうものの、新型コロナウイルスの事態収束はもう少し先になりそう。暖かくなっても油断は禁物です。
▼このたび広報担当を離れることになりました。数えてみると4年間で100号あまりを発行。それぞれに思い出があります。この場を借りて、制作にご協力いただいた皆さん、ご指導くださった方々に心から御礼を申し上げます。ありがとうございました。これからも「広報かねやま」を愛読ください！（つま）

金山町の人口は、5,378人（2月末現在）

男性	2,617人（-11）
女性	2,761人（-4）
世帯数	1,759世帯

▼2月の異動
出生 1人
死亡 10人
転入 6人
転出 12人